

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------------|----|---------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援 放課後等デイサービス いっせい | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 1月 10日 | | ～ 令和8年 2月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 23 | (回答者数) 20 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 2月 15日 | | ～ 令和8年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 3月 9日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 支援内容や活動の様子について保護者の方が安心できるように共有することができていること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎回活動後にLINEで活動内容や活動時の様子の詳細を写真や動画と併せてお伝えしている。 ・送迎時に話しやすい環境を作り、保護者の方と直接お話をしっかりと共有することができている。 ・職員同士で情報共有ができている。 | ・送迎時になかなか会うことができない保護者の方ともお話しできる機会を増やしていけるようにする。 |
| 2 | お子様の個別支援計画や本人または保護者の方のニーズに合わせてプログラムの内容が考えられていること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・デイリープログラムでは、運動遊びやSSTなどゲーム性のある内容で楽しく取り組めるように工夫している。 ・個別活動や学習の時間には、一人一人の苦手分野に合わせて活動内容を提供したり、作業トレーニングやプリント学習の内容を変更している。 ・実施した内容について評価表を作成して共有している。 | ・相談支援員や併用している事業所との担当者会議の実施を増やす。 |
| 3 | 活動スペースが広く室内で運動遊びを楽しむことができること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが安全に運動遊びを楽しむことができるように環境設定をしたり、ルールの確認など指導員が介入して行っている。 ・活動内で集団遊びを通して身体を動かしながら社会性や協調性を養ったり、身体機能の向上を図る。 | ・今度も安全に運動遊びを行うことができるように環境を設定する。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保護者の方に対する研修会や情報共有が行き届いていないこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方のご意見や要望を把握しきれていない。 ・研修会等の周知の仕組みが作られていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にアンケートを実施して希望内容や要望を把握できるようにする。 ・研修会やペアレントトレーニングについてのお便りなど配布して案内できるようにする。 |
| 2 | マニュアル系の周知、共有が不十分なこと。 | ・マニュアル等を作成し事業所内に掲示しているが保護者の方に共有することができていない。 | ・事業所内に掲示しているマニュアル等の保護者の方への周知を定期的にも実施できるような体制を整える。 |
| 3 | 保護者同士の交流やごきょうだいで交流できる機会がないこと。 | ・保護者の方が交流を希望しているかニーズを把握できていない。 | ・保護者の方からご要望があれば検討し実施できるようにする。 |